

第72回公開講座

Musashi Univ.

2020年 3/2(月)・3(火)・4(水)・5(木)

会場▶本学1号館1階1101教室 時間▶10:00~12:00 定員▶先着250名

学校教育再考

— 基盤のゆらぎとあらたな展望 —

コーディネーター

和井田 清司<本学人文学部教授>

第1回

3月2日(月)

転換期をむかえた学校

講師 和井田 清司<本学人文学部教授>

第2回

3月3日(火)

明るい不登校

講師 奥地 圭子<NPO法人東京シュール理事長>

第3回

3月4日(水)

多文化共生と日本の学校

講師 金井 香里<本学人文学部教授>

第4回

3月5日(木)

人がウェルビーイングに育つ環境の創出に向けて

講師 武田 信子<本学人文学部教授>

【受付期間】2020年 1月27日(月)~2月14日(金)

【受講料】全4回 2,000円(一般)

500円(武蔵大学在学生父母、武蔵学園卒業生)

無料(高校生、在学生*、後援会会員)

*在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します。

【支払方法】受講初回に、会場の受付にて現金でお支払いください。

【申込方法】裏面をご覧ください。



許可なく転載することを禁止します。



武蔵大学

経済学部

人文学部

社会学部

第72回 公開講座

学校教育再考 —基盤のゆらぎとあらたな展望—

3/2(月)

転換期をむかえた学校

講師：和井田 清司（わいだ せいじ）本学人文学部教授

1952年生まれ。公立高校教諭ののち、大学で教員養成に携わる。上越教育大学・国士舘大学を経て現職。教育実践史や社会科教育を専攻。著書は『高校初期社会科の研究』（学文社）、『戦後日本の教育実践—リーディングス田中裕一』（学文社）、『高校総合学習の研究』（三恵社）等。学校や教師のリアルに立脚した内発的な改革の芽をそだてたい。

日本の近代学校のたどった150年は、戦前と戦後に折半される。国家主義・軍国主義から民主主義・平和主義の教育という具合に。だが日本の学校の定型は、明治後期に形成され、その影響は通奏低音のように今日につづく。そしてようやく新たな転換期をむかえている。何がどのように転換しようとしているのか。本講座を通して考えてみたい。

3/3(火)

明るい不登校

講師：奥地 圭子（おくち けいこ）NPO法人東京シュール理事長

1941年生まれ。公立小教員22年後、フリースクール東京シュール開設。2007年教育特区を活用し、東京シュール葛飾中学校開校。今春、江戸川に小学校も開校する。親の会やフリースクールの全国ネットワーク活動、不登校新聞の発行、教育機会確保法の成立にも尽力。文科省フリースクール等検討委員会委員。

我が国で約半世紀増え続けた不登校。現在小中学生の不登校数は16万5千人を数えます。長い間彼等は否定的な目線で見られ、学校復帰が前提の政策に苦しめられてきましたが、わたしは、不登校は明るいと考えます。実際、国の教育課程に縛られない子ども発の学びや成長が本人を甦えらせ自立へ歩ませます。市民発で取り組んだ教育機会確保法の意義と共に、多様な学びの必要性を語りたいと思います。

3/4(水)

多文化共生と日本の学校

講師：金井 香里（かない かおり）本学人文学部教授

2007年東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。博士（教育学）。同大学大学院研究員、武蔵大学准教授を経て現職。専門は、マイノリティと学校教育、多文化教師教育。主な業績は、『ニューカマーの子どものいる教室』（勁草書房）、『子どもと教師のためのカリキュラム論』（成文堂）など。

2019年4月の改正法施行により、日本の学校で学ぶ外国籍の子どもの数はこれまで以上に増えることが見込まれています。子どもたちの国籍、言語、宗教などに加え、障がいやセクシュアリティなどの点からも、学校はより多様な子どもたちに関わることが求められています。本講座では、多様な子どもたちと日本の学校の現状を紹介しながら、これからの学校のあり方について考えます。

3/5(木)

人がウェルビーイングに育つ環境の創出に向けて

講師：武田 信子（たけだ のぶこ）本学人文学部教授

1962年生まれ。臨床心理士。カナダのトロント大学・オランダのアムステルダム自由大学大学院元客員教授。日本全国で、子どもに関わる大人、つまり、教員研修、子育て支援者や保育士、コミュニティワーカー、プレイワーカー養成等の人材育成に従事するとともに子育てや教育に関する発信を続けている。

子どもたちにまで、うつ状態が広がっている日本。このままでいいでしょうか。これからの日本の子どもたちの育ちを考えるために、臨床心理学・ソーシャルワーク・教育学等の知見や、世界で実際に見てきた教育や子育てを具体的に紹介します。全ての子どもたちがウェルビーイング（よい状態）に生きていけるように、日本の子どもたちの環境に対してかつて子どもだった私たちができることを共に考えませんか。

お申し込み・受講に関するご案内

PC専用申し込みサイトより
お申し込み

▼
<https://www.634.co.jp>

FAX、メール、郵送によりお申し込み

▼
下記の①～⑥を明記の上、
申し込み先まで送信（郵送してください）。

- ①第72回公開講座「学校教育再考」
- ②氏名（フリガナ） ③郵便番号・住所 ④電話番号
- ⑤FAX番号（ある方）
- ⑥申込区分（一般、本学在学生父母、本学園卒業生、
本学園後援会会員、本学在学生、高校生）

※本学在学生、高校生の方は、当日学生証または生徒証をお持ちください。

※お申し込み時点で定員に達している場合は、こちらからご連絡いたします。

※携帯電話でメールを送る場合、ドメイン指定受信をしている方は、申し込み先アドレスを受信するドメインに設定してください。

「受付票」は2月19日頃発送いたしますので、当日お持ちください。

●注意事項

(ア)いったん納入された受講料は返金できません。(イ)講師の病気その他やむを得ない事情により、講師の変更、講義を延期または中止することがあります。(ウ)緊急（休講等）の連絡をすることがありますので、申し込み後、住所あるいは電話番号等の変更があった場合には、速やかにご連絡ください。(エ)講義に支障をきたすような行為があった場合には、会場から退出していただくことがあります。(オ)本学には駐車スペースがありませんので、お車・バイク等での来場はご遠慮ください。

●個人情報の取り扱いについて

武蔵大学公開講座受講者の個人情報は、本学の個人情報保護指針に従って厳重に管理し、武蔵大学公開講座の運営並びに本学からの各種講座のお知らせ及び統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。各種講座の案内送付は、当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」という。）において行います。武蔵大学公開講座受講者の個人情報は本学が明示する用途のみに使用し、委託業者にはその委託業務を越えた利用はありません。また、委託業者に対しては、個人情報、漏洩・流出することのないよう厳重な管理を義務づけます。今後、本学からの各種講座の案内を希望されない場合は、お手数ですが、武蔵大学 大学庶務課（03-5984-3713）までご連絡ください。

お問い合わせ
お申し込み先

(株)武蔵エンタープライズ

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1（武蔵大学内）

FAX：03-5984-3787 E-mail：kouza@musashi.ac.jp

TEL：03-5984-3785

URL <https://www.634.co.jp>



MUSASHI
UNIVERSITY